



活動報告

今月は感染管理
認定看護師

針刺し、血液、体液暴露事故の集計を行っています。まだ、2019年度の途中ですが、今年度の状況をお示します。報告件数はやや多い傾向にあります。2014年以降、様々な職種の方から報告が行われるようになり、曝露には至らない事例についても報告されています(表1)。

表1

事故報告件数 (合計:93件、平均18.6件/年)

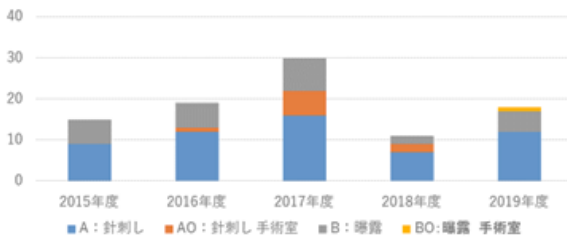
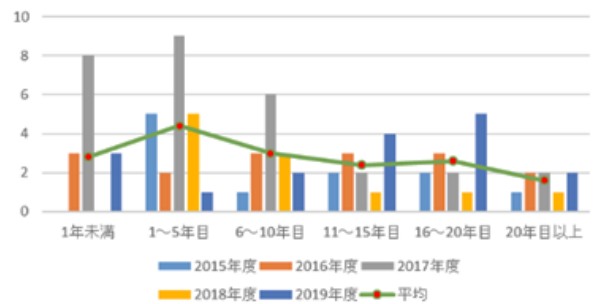


表2

経験年数別報告件数

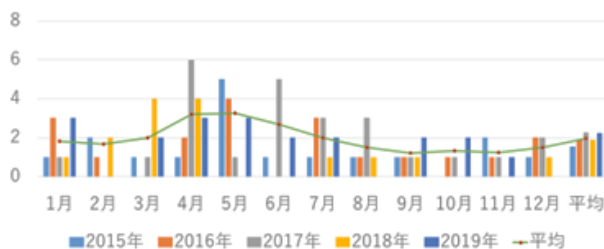


1年未満(新卒者)の職員が、2~5年目の職員の次に多いです。特に今年度は、インスリン針が原因の針刺しが4件ありました。うち2件に新卒者がかかわっていました(表2)。

事故が報告される月は4.5.6月がやや多いです(表3)。事故後の聞き取りでは、針を廃棄する手順を守らなかったというのがありますが、「その行為が危険である」と予測していなかったというのがあります。事故は自分だけではなく、次の人が曝露する前に気づけるよう事例を共有してください。

月別報告件数

表3



感染管理認定看護師 篠原晃子





認定看護師の豆知識

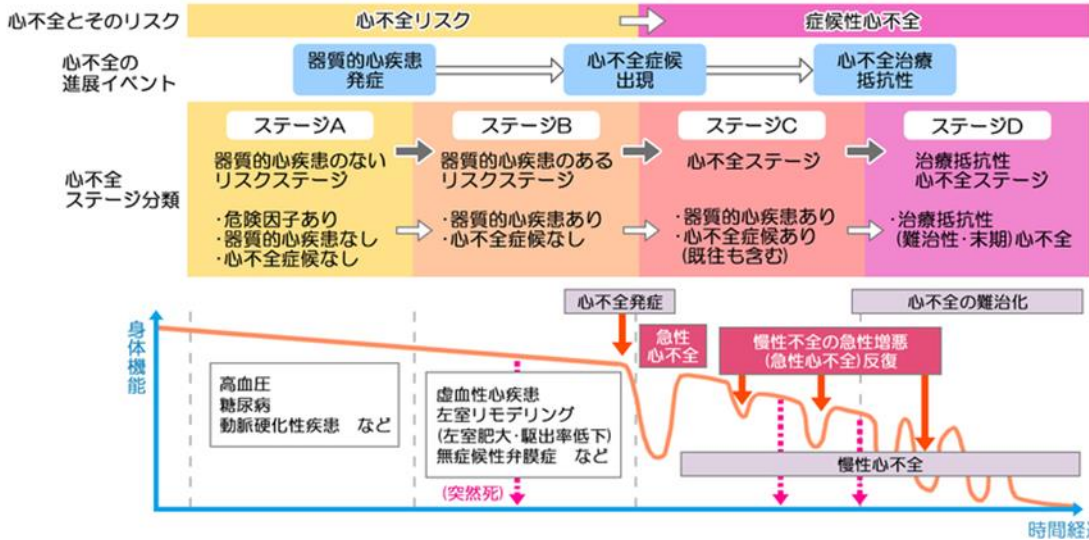
今月は慢性心不全看護認定看護師

心不全のステージについて

心不全にも進行の状態によってステージがあることをご存じでしょうか？

リスクの状態から末期まで4段階のステージに分けられています。

心不全症候が出現した時点でステージはCとなりますが、心疾患の発症と同時に心不全症候を認める場合もあり、ステージBとCが同時になる方もいます。そして、心不全発症後は急性、慢性の状態を繰り返しながら徐々に進行し、ステージD(治療抵抗性)の状態となります。



それぞれステージの期間は、病態や疾患管理状況によっても違いがあります。心不全患者のセルフケア能力の向上は生命予後やQOLの改善が期待できます。循環器病棟では、昨年より患者指導にステージについての説明を追加しました。症状が改善すると、治ったと思っている患者さんは意外に多いです。そのため疾患管理が正しく継続されるよう支援していくことはとても重要です。

慢性心不全看護認定看護師 原谷こずえ



各分野電話番号

病棟ごとの勉強会 依頼受付中！

認定看護師会では今年度より病棟ごとの勉強会、研修を依頼を受け行うことになりました。

既存のテーマでも、看護で困っていることなどなんでも結構です！

リクエストお待ちしております！

- 救急看護: 村上 8863
- 慢性心不全看護: 原谷 8154
- 感染管理: 篠原 8623
- 皮膚排泄ケア: 大西 8397
- 認知症看護: 藤原 8667
- 集中ケア: 堀内 8676または HCU1301

